

政令市移行に約9億 5,000 万円の予算

第4回定例会が、11月29日～12月16日開催されます。(右参照) 今回の予算・議案の特徴は、来年4月の政令指定都市移行の準備・記念の予算約9億5千万円、条例案40件等多数を占めることです。その他、不況の影響を受け、法人市民税還付金が1億2千万円増額、生活保護費も22億3800万円増額補正されています。

民間委託・指定管理を加速!

市直営の市役所駐車場管理、天明ホール舞台技術業務の民間委託を提案。また、直営施設の指定管理者も提案されています。

「男女共同参画センターはあもにい」

⇒ 九州総合サービス・産業文化振興KK・
ミューズプランニング

「リサイクル情報プラザ」 ⇒

パブリックビジネスジャパン・石坂グループ

「健軍文化ホール」

⇒市社会教育振興事業団・市駐車場公社

「水前寺江津湖公園」 ⇒ 市造園建設業協会

【政令指定都市移行関係予算】

政令指定都市準備経費は約8億3,000万円(債務負担約7億9,000万円)、記念事業費として、約1億2,000万円が提案されています。

(政令指定都市記念事業)

- ・市内宿泊客に「熊本水物語」配布：390万円
- ・熊本城マラソンなど各種スポーツ大会でのPR：200万円
- ・江津湖での健康・環境フェア～総額3000万円(仮称・江津湖マンス)
- ・くまもと城下まつり：2000万円
- ・「マガジンジャック」、大都市での電車内広告：4650万円
- ・プレミアム商品券発行：1500万円

動植物園駐車場有料化中止を!

来年4月から、土・日・祭日の駐車場使用料有料化条例(大型自動車1000円、中型・普通自動車200円)を提案。政令市移行に向け、県内の子ども達へのプレゼントとして、入園料の無料化こそ進めるべきではないでしょうか。

12月議会日程が決まりました



- 11月29日 開会・本会議
(提案理由説明・議案審議)
*市職員給与減額条例案質疑・採決
- 12月1～7日 一般質問
*今回、日本共産党市議団の一般質問はありません。
- 9日～ 予算決算委員会分科会
各常任委員会
- 14日 予算決算委員会
(分科会報告・締めくり総括質疑)
- 16日 最終日・本会議
(委員長報告・質疑・討論・表決)

- ★ 請願の締め切りは、11月29日午後5時
- ★ 陳情書の提出は、12月5日までに。
- ★ 請願・陳情の趣旨説明は、12月9日午前

【特別委員会の日程】

- 「政令市に関する特別委員会」
12月8日(木)
- 「中心市街地活性化特別委員会」
12月21日(水)

【控室から】 私学助成の拡充を!

上野 みえこ

長男が私立高校にお世話になって以来十年近く、毎年「私学助成拡充」の署名に協力してきました。今年も、先日下通りで行われた街頭署名に参加しました。高校生・大学生から高齢の方まで、さまざまな方に足を止めていただきました。ベビーカーを押したお母さんは、「夫は、奨学金で私学を卒業しました。その返還を私たちの子どもが大人になるまで続けなければなりません」、そう言っていて署名していただけて嬉しかったです。

公立ならば大学まで無償というヨーロッパの国々と比べたら、日本の教育費の負担は突出しています。特に私立の高校・大学の負担は大きく、熊本市内でも、学費の支払いができませんに中途退学をする、そんな子どもたちが後を絶ちません。ここ数年は、マスコミでも「子どもの貧困がクローズアップ」されてきました。お金のあるなしにかかわらず、すべての子どもたちが安心して学べる社会に、願わずにはいられません。

私学の先生方や私たち保護者で取り組んでいる「私学助成拡充」署名に、ご協力をお願いします。



日本共産党 市議会だより

発行: 日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまだか
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

No.778

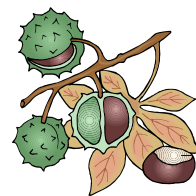
2011年11月27日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム: http://www.jcp-kumamoto.com/



【「中心市街地活性化特別委員会」視察報告・上野みえこ】

「中心市街地活性化基本計画」2期計画策定 住民の意見を聞き、事業費も大幅削減

…「長野市中心市街地活性化基本計画」2期計画策定に学ぶ…

熊本市と同様に、今年度末で「1期計画（5年間）」が終了し、2012年4月から「次期計画（5年間）」が始まる長野市の「中心市街地活性化基本計画」見直しの調査をしました。

住民意見を聞いた、丁寧な総括

長野市は「1期計画」の総括にあたり、中心市街地活性化基本計画の成果の検証と今後の施策の優先度を検討するための基礎的データをを得ることを目的に、2,000人の市民を対象にした郵送による「市民アンケート」を実施しています。

調査の内容は、①中心市街地における機能や事業等の満足度、将来的に見た重要度（必要性）を5段階で評価、②1期計画の認定前（H18年度）との比較です。

市民への積極的な情報提供

長野市では「中心市街地活性化協議会」の会議内容・資料・会議録が、ホームページで公開されています。

「評価専門委員会」による評価

熊本市でもつくっている「中心市街地活性化協議会」の他に、第三者による計画の評価機関として「中心市街地活性化基本計画評価専門委員会」が設置されています。

民間団体代表や学識経験者・活性化協議会メンバー等・8人で構成され、数値目標の確認や改善策の提案、フォローアップを行います。

事業費は3分の1に削減

1期計画を精査し、2期計画の事業費は3分の1程度に削減予定です。

「中心市街地活性化基本計画」とは？

1990年代以降顕著になった中心市街地の空洞化・衰退を解消するためにつくられた「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき各自治体が作成し、内閣が認定する計画。

熊本市では、H19年に内閣が認定した「1期計画」で「熊本駅前・新都心プラザ211億円」や「さくらの馬場・城彩苑48億円」などの建設をすすめてきた。総事業費 約1,900億円

長期にわたり、難航する「大型再開発事業」

……横浜市・戸塚駅西口再開発事業……

横浜市戸塚区の戸塚駅前西口再開発事業は、戸塚駅前の4.3haを市が買収して、商業ビルや公共施設（区役所・区民文化センターなど）、交通広場などを整備する「第2種市街地再開発事業」です。

（期間）H9年3月～H25年3月

（総事業費） 約1,136億円

「都市計画決定」から16年

未だに事業継続中

H6年の「都市計画決定」から、今年度で17年目を迎え、事業は継続中です。あと1～2年で事業は完了しますが、権利者が多かったことや床の配置調整にも手間取るなど、事業は難航し、長期間を要しました。



公益施設（区役所・文化センターなど）



「変更」の連続

H9年に事業着手したこの再開発事業は、社会経済状況を踏まえ、H15年10月に計画の再検討に着手、翌H16年3月に「再検討案」を発表、現行計画がすすめられてきました。

H6年10月に行われた「都市計画決定」は、その後H22年2月まで4回変更されました。H9年3月に決定された「事業計画」は、H22年12月まで5回の変更。H19年2月に決定された「管理処分計画」は6回の変更が行われました。

多額の事業費を要する大型再開発は、全国いたるところで事業が難航し行き詰っています。